

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助実習指導 I			選択	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡邊 隆文 他		B307	t.watanabe		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要		<p><目的>相談援助実習（学外現場実習）は、実際に患者や利用者が生活している場の実習生として参加する。ここでは、学外現場実習に向けて必要となる基礎的・専門的知識を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>相談援助実習に向け、対外的なやり取りの基礎からソーシャルワークの定義・価値まで幅広い知識内容を講義する。授業は印刷教材と同時双方向授業でおこなっていく。講義だけではなく、受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを通してお互いの意見を把握し、多くの視点・考え方を理解させる。</p>				
学習上の助言		学外実習に向けた事前学習を行うため、社会福祉士に関する知識を総合的に学んでおくことが望ましい。				
教科書		学外実習の手引き（学内発行）				
参考書		特になし。				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	各自の課題を考察し、学外現場実習に向けて必要な知識を習得できる。				HSU(6)、社(1)	
②	具体的に目標を明確にするための基礎知識を習得できる。				HSU(2)、社(2)	
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）			
1	オリエンテーション（演習の進め方、評価についての説明）福祉の概念整理と用語の理解を深める	印刷教材での授業	提出された課題に取り組む	3		
2	ソーシャルワークに必要な力について理解を深める	印刷教材での授業	提出された課題に取り組む	3		
3	ソーシャルワークの定義と社会福祉士の定義について理解を深める	印刷教材での授業	提出された課題に取り組む	3		
4	ソーシャルワーク専門職の法的位置づけについて理解を深める	印刷教材での授業	提出された課題に取り組む	3		
5	高齢者福祉分野について理解を深める	印刷教材での授業	各分野のプレゼンテーションのための準備を行う	6		
6	障害者福祉分野について理解を深める	印刷教材での授業	各分野のプレゼンテーションのための準備を行う	6		
7	児童福祉分野について理解を深める	印刷教材での授業	各分野のプレゼンテーションのための準備を行う	6		
8	社会福祉士の実践分野について理解を深める	同時双方向型授業	各分野のプレゼンテーションのための準備を行う	6		
9	実習終了者の報告（発表）などを通して、各自の課題を考察し、今後の学習目標を定める	同時双方向型授業	講義中出された課題に取り組む	2		
10	実習終了者の報告（発表）などを通して、各自の課題を考察し、今後の学習目標を定める	同時双方向型授業	講義中出された課題に取り組む	2		
11	実習終了者の報告（発表）などを通して、各自の課題を考察し、今後の学習目標を定める	同時双方向型授業	講義中出された課題に取り組む	2		
12	社会福祉士の実践領域の学びの発表①	同時双方向型授業	発表・ディスカッションでの学びを整理する	4		
13	社会福祉士の実践領域の学びの発表②	同時双方向型授業	発表・ディスカッションでの学びを整理する	4		
14	社会福祉士の実践領域の学びの発表③	同時双方向型授業	発表・ディスカッションでの学びを整理する	4		
15	全体の総括として、実習に向けた自己の課題を明確にする。	同時双方向型授業	全体を通しての復習を行う	6		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	10	80	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	20	0	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	30	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	20	0	20
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	10	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	発表課題についての提出状況・内容を評価する				同時双方向型授業内にて回答する
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ロールプレイ等の演習を通して学びの理解度を評価する				同時双方向型授業内にて回答する
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	第1回～第7回の自宅学習課題について提出状況・内容を評価する また、同時双方向型授業での参加態度についても評価する				同時双方向型授業内にて回答する
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams をつかった同時双方向型授業を行う。 課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>相談援助実習を履修希望者は必ず履修すること。 学外現場実習に向けた講義のため、原則遅刻・欠席は認めない。 止むを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。</p> <p>担当教員：◎渡邊 隆文、梅沢 佳裕 教員の実務経験：渡邊隆文「スクールソーシャルワーカー、社会福祉士として6年の臨床経験。」 梅沢佳裕「ソーシャルワーカー、社会福祉士として7年3ヵ月の臨床経験」 実践的授業の内容：教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p>							